

第42回ISM - ケルン国際菓子専門見本市

2012年1月29日(日)～2月1日(水)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

- ファイナル・レポート -

- 菓子業界世界ナンバーワンのビジネスプラットフォーム
- ハイレベルのビジネスコンタクト
- 来場者数好調:130カ国から約35,000人

2012年1月29日から2月1日までケルンで開催された第42回ISM国際菓子専門見本市は、1,412社の出展者が参加し成功裏に閉幕しました。この成功の決め手は130カ国から来場した約35,000人の業界専門の来場者のその高い購買決定権によるものです。「ISMは世界ナンバーワンの菓子取引のビジネスプラットフォームです。そしてこれは今回のISMでも明確に証明されました。」とケルンメッセ副社長のカタリーナ・クリスティーネ・ハマは述べました。また、国際スイーツ&ビスケットフェア・ワーキンググループ(AISM)会長のトビアス・バツハミューラー氏は、「エネルギーと原材料の価格高騰の継続は、各メーカーに多くのプレッシャーを与えています。そのためISMでの広範囲にわたるディスカッションや輸出取引の強化は、この業界にとって必要不可欠です。」と述べました。今年のISMでは、ドイツ食料・農業・消費者保護相イルゼ・アイグナー氏が、ベルギー大使Renier Willem Joseph Nijskens氏が出席する中、ISMを開会しました。ベルギーは今回のISMのパートナー国であり、135ものメーカーが会場での多くの活動を通じてベルギーのチョコレートやプラリーネ、焼き菓子の多様性と品質を見事に実証しました。

ドイツの商社のほぼ全ての主要購買担当者がISMに参加し、ドイツからの来場者数も若干増加しました。また、世界中の主要商社や輸入業者もISMを訪れ、コンビニや小売業のバイヤーは、会場で広範囲にわたる商品を見定めていました。一方、来場者の約64%が海外からの参加で高い海外参加率を誇っています。アジアからの来場者が大幅に増えましたが、特に日本、韓国、中国の来場者が大きく増加しました。また、北、中南米や中東からも数多くの来場者が登録し、東ヨーロッパ特にロシアからの来場者数も良い結果となっています。

ISM2012のデータ

総展示面積: 110,000平方メートル

出展企業総数: 65カ国から1,412社(外国企業比率:83%)

ドイツからの出展企業数: 単独出展:220社、共同出展:19社

海外からの出展企業数: 単独出展:1,153社、共同出展:20社

来場者数: 130カ国から約35,000人(外国からの比率:64%)

日本からの出展参加: 1社

ISM2012のトレンドなど詳しい情報は: <http://www.ism-cologne.com/press/>

第43回ISMケルン国際菓子見本市は2013年1月27日(日)～30日(水)の会期で開催されます。また、第7回プロ・スイート国際菓子産業・資材メッセはISMと同日程で開催される予定です。

ISMに関するお問い合わせは:

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5階

Tel:03-5793-7770 Fax:03-5793-7771

E-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp